

米国の政権交代



グリーン・エネルギーで雇用を創出

そして天然ガス車にも期待が

米国の Obama 次期大統領はこの 3 月に、ペンシルバニア州にある Gamesa Energy USA の風力発電機の製造工場で従業員等を前にして演説し、そのなかで「今後 10 年間に 1500 億ドルを投じてグリーン・エネルギー部門を構築して最大 500 万人の雇用を創出する」(3 月 11 日、States News Service)と公約しました。

「我々は米国中に風力発電機を設置しなければならない」(3 月 12 日、The Allentown Morning Call)と語っています。

Gamesa Energy USA は、風力発電で世界的に有名なスペインの Gamesa Technology Corp. の米国子会社です。

11 月に入ると

「かつてエタノールは、将来のクリーンエネルギーであり、米国にエネルギーの自立をもたらすと期待されていた。今、投資会社は、太陽光、地熱、風力等に投資している。もし Obama 候補が当選すれば、新政権はエタノールではなく太陽光および風力に予算を配分すると予想されている」(11 月 4 日、Dow Jones News Service)と、大統領選挙の投票日に報じられました。

そして Obama 新政権が誕生することになりました。

欧州の石油メジャーは投資先を米国での風力発電事業に切り替えました。

BP は、「英国での風力発電設備の建設を断念した。英国は風力発電の規制が厳しくて経済的な魅力が小さい。風力発電の投資は米国が最良の地」(11 月 7 日、The Guardian)としています。

Royal Dutch Shell も、「英国での洋上風力発電への投資を縮小して米国での陸上風力発電事業に投資する」(5 月 2 日、The Daily Telegraph)と報道されています。

天然ガス車が浮上

イリノイ州選出の民主党の Emanuel 下院議員が 7 月に、石油高騰の対策および米国のエネルギーの自立のために天然ガス車の導入を支援する法案(HR 6570)を議会に提出しました。

Emanuel 下院議員は、「Obama 次期大統領の友人」(11 月 17 日、International Herald Tribune)で、新政権の首席補佐官に就任する予定です。

そして民主党は 9 月に、HR 6570 の内容も含む法案「包括的米国エネルギー安全保障および消費者保護法」(H.R.6899)を下院に提出し、同法案は 9 月 16 日に可決されました。

「民主党は天然ガス業界にも好意的である。Obama 上院議員も含めた多くの民主党の指導者達は米国の自動車のかなりの割合を天然ガス車に変える法案を提出する用意がある」(11 月 5 日、Dow Jones)と報じられています。

自動車会社ですが、General Motors はこの天然ガス車に前向きです。

同社の研究開発の責任者 Burns 副社長が、「天然ガスは、米国に豊富にあり、価格が手頃で、比較的クリーンなので魅力がある。... 当面、圧縮天然ガスは内燃エンジンの燃料に使用できる」と同社の企業 Blog に記しています。

欧州はさらに先を

天然ガス車の燃料は通常の天然ガスだけではありません。

先月のパリ自動車ショーで General Motors Europe の Forster 社長が、「E85(エタノール 85%、ガソリン 15%)、およびバイオガスから製造する CNG(圧縮天然ガス)が広く入手できるように今すぐに明確な行動を起させる政策が必要」(10 月 4 日、Just-Auto)と訴えています。

欧州では CO2 対策の一環として、バイオマス(バイオガスを含む)から製造する代替天然ガスを自動車用燃料等に使用することが議論されています。

ひとつ

(Web 公開)「世界のエネルギーの話題」(2008 年 11 月 21 日)

代替天然ガスは素性を除けば天然ガスと同じなので、既存の天然ガスのパイプラインに送り込めます。

例えばスウェーデンでは、「バイオガスを原料とする代替天然ガスが天然ガスのパイプラインに送入されて」(2007 年 8 月 15 日、Petroleum Review)います。

(YY)

本レポートは、世界の 2500 紙以上の新聞、5500 紙以上のビジネス紙および業界紙、600 以上のニューズワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバ(ダウ・ジョーンズ社のデータベースサービス)を利用して入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)